

令和8年
8月号



緑ヶ丘ブロック交番だより

伊丹警察署 ☎ 072-771-0110

緑ヶ丘交番
昆陽交番

早めの避難を！

防災意識の高揚
～風水害に備えて

命を守る行動を！

これからの季節は、台風やゲリラ豪雨などにより、河川の急な増水・氾濫、土砂崩れなどが発生する恐れがあります。また線状降水帯が発生した場合には、いつでも避難できる準備をしましょう。

普段から「逃げるタイミング」「逃げる場所」を考えておくとともに、気象庁が発表する気象情報や、市・町が発令する避難情報等を入手し、早めの避難を心掛けましょう。

覚えておきましょう！災害の警戒レベル

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	住民がとるべき行動
5	氾濫特別警戒	大雨危険警戒	土砂災害特別警戒	高潮特別警戒	命の危険 直ちに安全確保
4	反乱危険警戒	大雨危険警戒	土砂災害危険警戒	高潮危険警戒	危険な場所から 全員避難
3	氾濫警戒	大雨警戒	土砂災害警戒	高潮警戒	危険な場所から 高齢者などは避難
2	氾濫注意	大雨注意	土砂災害注意	高潮注意	避難方法を 確認
1	早期注意情報				災害への心構えを 高める

【線状降水帯の予測情報が提供されたら・・・】

大雨による災害発生危険度が高まっていること認識し、心構えを一段と高めましょう！

- ご自身や家族の安全確保が第一です。
- 普段から避難に備えて、食料や着替えなどを準備しておきましょう。
- ハザードマップや避難情報、避難経路を確認しておきましょう。
- 最新の気象情報に常に注意を払いましょう。

無理のない運転！



高速道路の交通事故発生件数と交通事故防止



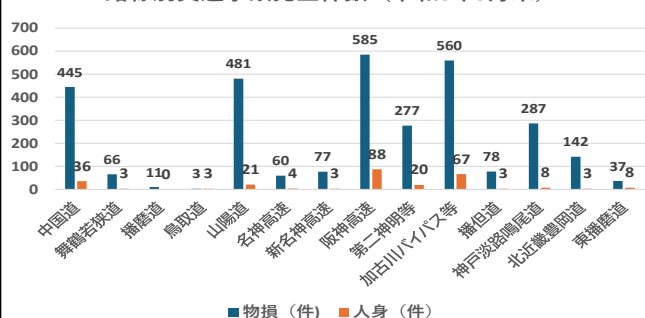
適度な休憩！

県下の高速道路及び自動車専用道路（以下「高速道路等」という。）では、令和8年5月末現在、交通死亡事故は4件（死者数4名）発生し、人身事故件数が267件、物件事数3,109件が発生しており、昨年と同じ時期と比較すると交通死亡事故及び物件事数は増加しています。

例年、夏場は、規制や海・山などのレジャーに高速道路を利用される方が多く見込まれることから交通量の増加に伴う交通事故の多発が懸念されます。下記の表は路線別交通事故件数です。

令和8年5月末	中国道	舞鶴若狭道	播磨道	鳥取道	山陽道	名神高速	新名神高速	阪神高速	第二神明等	加古川バイパス等	播但道	神戸淡路鳴尾道	北近畿豊岡道	東播磨道
物損（件）	445	66	11	3	481	60	77	585	277	560	78	287	142	37
人身（件）	36	3	0	3	21	4	3	88	20	67	3	8	3	8

路線別交通事故発生件数（令和8年5月末）



- 注1 阪神高速には、神戸線、湾岸線、池田線、北神戸線、神戸山手線、湾岸垂水線を含みます。
- 注2 第二神明等には、第二神明北線を含みます。
- 注3 加古川バイパス等には姫路バイパス、太子竜野バイパス、姫路西バイパス、姫路北バイパスを含みます。

厳禁！ながら運転・速度超過
大事故につながります。
出発前点検も確実にしましょう。



全国各地の高速道路等において事故や故障でやむを得ず停止した車に後続車が衝突する重大な交通事故が発生しています。このような事故の未然防止には、出発の前の車両点検（タイヤ、ガソリン、ブレーキ、冷却水などの点検）を必ず行い、高速道路等の車道上で停止することのないようにしましょう。

万一、停止してしまった場合には、高速道路における「緊急時の3原則」

○ 路上に立たない ○ 車内に残らない ○ 安全な場所に避難する

を実践し、後続車に「車内点検済み、安全な場所に避難していること」を知らせてください。



生活道路※における自動車の法定速度が引き下げられます!!

※ここでいう「生活道路」とは、主に地域住民の日常生活に利用されるような、中央線がない道路のことです。

令和8年9月1日
改正道路交通法施行令施行

60 km/h → 30 km/h



▼ 以下の道路における自動車の法定速度は引き続き60km/hです ▼

- 1 道路標識又は道路標示による中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路 
- 2 道路の構造上又は柵その他の工作物により自動車の通行が往復の方向別に分離されている一般道路 
- 3 高速自動車国道のうち、本通り車道並びにこれに接する加速車線及び減速車線以外のもの
- 4 自動車専用道路 

◇ 道路標識又は道路標示により最高速度が指定されている道路では、その速度が最高速度となります。例えば、道路標識により最高速度が40 km/hと指定されている生活道路では、最高速度は30 km/hではなく40 km/hとなります。

◇ 決められた速度の範囲内であっても、道路や交通の状況、天候や、視界などをよく考えて、安全な速度で走りましょう。